

令和7（2025）年度 10月期入学

公立小松大学大学院サステイナブルシステム科学研究科  
（博士前期課程）

# 学生募集要項

一 般 選 抜  
社 会 人 特 別 選 抜  
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜



公立小松大学大学院

## 令和7（2025）年度 10 月期

### 入学者選抜試験日程（博士前期課程）

#### 生産システム科学専攻

区 分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	令和7（2025）年 6月16日（月） ～ 6月20日（金）	※専攻で個別に対応	試験日から2週間 以内	令和7（2025）年 9月初旬まで
社会人特別選抜				
外国人留学生特別選抜	随時	随時	随時	随時

#### ヘルスケアシステム科学専攻

区 分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	令和7（2025）年 7月11日（金） ～ 7月17日（木）	※専攻で個別に対応	試験日から2週間 以内	令和7（2025）年 9月初旬まで
社会人特別選抜				
外国人留学生特別選抜				

#### グローバル文化化学専攻

区 分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	令和7（2025）年 7月11日（金） ～ 7月17日（木）	令和7（2025）年 8月2日（土）	令和7（2025）年 8月22日（金）	令和7（2025）年 9月初旬まで
社会人特別選抜				
外国人留学生特別選抜				

# 目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員と入学期	5
3. 出願資格	5
4. 出願資格事前審査	6
5. 出願期間	8
6. 出願手続	8
7. 選抜方法・試験日時等	12
I. 一般選抜	12
II. 社会人特別選抜	14
III. 外国人留学生特別選抜	15
8. 受験票の発送日等	16
9. 合格者発表	17
10. 入学手続	17
11. 入学料及び授業料	18
12. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者の事前相談	18
13. 個人情報の保護	20
14. 長期履修制度	20
15. 専攻長への事前連絡	21
16. 研究分野・担当教員名簿	21
17. 試験場の所在地等	23
18. お問い合わせ	24

# 1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## サステイナブルシステム科学研究科

以下の資質を備えた入学者を求める。

- 本学の学士課程が有する生産システム科学、保健医療、国際文化交流の各学部及びこれに相当する高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する実習を修了した人。
- 地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ者。他分野にも関心を持ち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題発見・解決への粘り強い意欲を示す人。
- 個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合う人。

## 【生産システム科学専攻】

### 【求める学生像】

ものづくりの分野において、工学に関する高度な専門性を活用して持続可能な生産プロセスを実現し、地域の産業界に貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

（知識・技能）

1. ものづくりの基本である機械工学、情報工学、電気電子工学の基盤となる学問分野についての基礎知識を身につけている人。

（思考力・判断力・表現力）

2. 持続可能な生産プロセス実現のため、機械工学、情報工学、電気電子工学の活用に意欲的な人。  
（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）
3. 自らの専門に留まらず、他分野の専門家と積極的に連携し、持続可能性のための課題解決に取り組む意欲と行動力を有する人。
4. 地域の産業界と積極的に関わり、地域産業の発展のために活躍する意欲を有する人。

### 【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 研究課題を成し遂げるのに必要な基礎知識及び関連研究の調査方法

機械工学系の研究課題の場合には材料力学、振動工学、熱力学、流体工学など、情報工学系の場合には、プログラミング、アルゴリズム論など、電気電子工学系の場合には、電気回路など、それぞれの基礎知識が必須である。またそれぞれの研究分野における論文を検索するなどの文献調査能力が必要となる。

2. 専門分野以外の事象に対する興味とそれらを自ら学ぶ姿勢

独創的な研究を行うには専門分野以外の事象や知識などに広く興味を持つべきであり、さらに研究に

役立てるには資料や論文を収集して自ら問題意識を持って学ぶことが必要になる。

### 3. 様々な分野の研究者との情報交換を可能とするコミュニケーション能力

研究内容を高めるためには、自分の研究分野はもちろん、他分野の研究者との討論の場を持つことが重要であり、そのためには高いコミュニケーション能力が必要となる。

#### 【入学者選抜の方針】

##### [一般選抜]

学力試験（専門基礎学力と応用力を審査する）、口述試験（勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う）、英語外部試験（英語能力の素養を審査する）、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。なお、成績優秀者については学力試験を免除し、口述試験に専門基礎学力に関する質問を含めることとする。

##### [社会人特別選抜]

口述試験（社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う）、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

##### [外国人留学生特別選抜]

書類審査（学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書）、口述試験及び、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課す。

口述試験は、学業成績証明書に基づき、志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

#### 【ヘルスケアシステム科学専攻】

##### 【求める学生像】

地域に根ざしたヘルスケアの体系的な構築や医療機器の開発を通して、持続可能なコミュニティづくりに貢献できる人材を養成することを目的としている。このような観点から、次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

（知識・技能）

1. 本学保健医療学部が授与している学位（看護学、臨床工学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。

（思考力・判断力・表現力）

2. 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。

（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

3. 人々の健康と幸福に寄与するための高い志を持ち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

### 【入学までに身につけておいてほしいこと】

#### 1. 保健・医療系の大学の学部教育課程で学ぶ諸科目の堅固な基礎学力

保健・医療系大学の学部教育で学ぶ自然科学（保健・医療に関連する生物学、化学、及び物理学の知識）は科学的な視点で保健・医療分野の事象を理解し、当該分野の課題の解決策を構築するために必要である。また、英語などの語学力は保健・医療分野における多様な情報の収集、発信、及び記述のために求められる。さらに、人文・社会の知識を積極的に学ぶ姿勢は、ヒトを対象とする医療において重要となる“他者の営みの理解”につながる。

#### 2. 人間の生命や医療に関する事象を主体的・論理的に考える能力

医療及びその関連領域の課題に対処していくためには、疑問を解決するために自ら調べ、粘り強く物事に取り組み、獲得した知識を活用し論理的に考える能力が必要となる。

#### 3. 他者の価値観を理解し、配慮をもって他者に協力する姿勢

医療及びその関連領域の課題やその解決案を世の中に伝えていくためには、他者の価値観や立場を理解しながら自身の考えを適切に伝えることができる力が必要となる。また、高度化・細分化した医療を適切に提供するために求められる“チーム医療”の観点から、他者と協働して物事に取組む姿勢が求められる。

### 【入学者選抜の方針】

入学者の選抜は、多様な志願者を対象に、透明性・公平性を担保しつつ、アドミッション・ポリシーに基づいた人材を確保するため、以下の一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の区分を設け、選抜を行う。

#### [一般選抜]

書類審査（学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書）、口述試験及び、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う試験を課す。

口述試験は、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や健康と福祉が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

#### [社会人特別選抜]

口述試験（社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う）、学業成績証明書に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

#### [外国人留学生特別選抜]

書類審査（学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書）、口述試験及び、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課す。

口述試験は、学業成績証明書に基づき、志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。英語及び日本語の能力が著しく低い場合は不合格にすることがある。

## 【グローバル文化学専攻】

### 【求める学生像】

サステイナブルな社会を人文科学的・社会科学的視座から達成するために、先見的かつ総合的な道筋を提案し、国際・地域課題の解決に取り組む人材を養成することを目的としている。このような観点から、次のような能力・資質を備えた入学者を求める。

(知識・技能)

1. 高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、専門基礎に関する知識を有する者人。  
(思考力・判断力・表現力)
2. 言語文化学・政治経済学・観光学の専門性を深めるなかで、豊かな創造性と歴史感覚を働かせるとともに、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれない、先見的かつ総合的な道筋を提案できる人。  
(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 南加賀及び北陸と国際社会の持続可能性に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を備え、自国の文化に誇りを持ち、地域社会の文化的多様性を探求する力を養いたい人。

### 【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 自らの研究分野に関する基礎知識  
自らの研究分野において必読とされる入門書や概説書などに目を通しておくなど、研究を発展させていくための土台となる知識を身につけておくこと。
2. 他者とのコミュニケーションとリスペクト  
異文化社会と関わっていくためのコミュニケーションの道具である言葉に関するスキルを磨くことはもちろん、自分と異なる「あたりまえ」に対するリスペクトを持つことは大切である。
3. 授業を受け、研究発表していくための最低限の言語能力  
特に外国人留学生については、日本語でおこなわれる本大学院の授業に対応できるだけの言語能力を持つよう努力すること。

### 【入学者選抜の方針】

#### [一般選抜]

書類審査（学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書）、口述試験及び、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う試験を課す。

口述試験は、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

#### [社会人特別選抜]

口述試験（社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う）、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う意欲と資質を総合的に評価する。

### [外国人留学生特別選抜]

書類審査（学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書）、口述試験及び、専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課す。

口述試験は、学業成績証明書に基づき、志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

## 2. 募集人員と入学期

[令和7年度10月期入学]

専攻名	募集人員
生産システム科学専攻	若干名
ヘルスケアシステム科学専攻	若干名
グローバル文化科学専攻	若干名
合 計	若干名

## 3. 出願資格

各選抜の出願資格は、以下の各号のいずれかに該当する者とします。

なお、出願資格以外にも、個別の出願条件が設定されている選抜もあります。出願条件の詳細は、各選抜の該当ページを参照してください。

- ① 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和7(2025)年9月30日までに卒業する見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和7(2025)年9月30日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7(2025)年9月30日までに修了する見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和7(2025)年9月30日までに修了する見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7(2025)年9月30日までに修了する見込みの者

- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が三年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7（2025）年9月30日までに授与される見込みの者
- ⑦ 文部科学大臣の指定を受けた者
- ⑧ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者及び令和7（2025）年9月30日までに修了する見込みの者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科が大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑩ 令和7（2025）年9月30日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者及び令和7（2025）年9月30日までに在学見込みの者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和7（2025）年9月30日までに修了する見込みの者、我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び令和7（2025）年9月30日までに修了する見込みの者、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和7（2025）年9月30日までに修了する見込みの者であって、本研究科が所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- ⑪ 本研究科が個別の入学資格審査により、出願資格①に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、令和7（2025）年9月30日までに22歳に達する者

## 4. 出願資格事前審査

「3. 出願資格」の⑥、⑨、⑩、⑪により出願しようとする者は、出願期間前に出願資格審査を行う必要があります。本要項7ページ「(2) 提出書類 (ア)～(キ)」を、郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）する際、封筒の表に「**サステイナブルシステム科学研究科（博士前期課程）出願資格事前審査申請書在中**」と朱書きしてください。提出期間最終日までに必着とします。ただし、提出期間を過ぎて到着した提出書類でも、提出期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMSは除く。）は有効とします。

※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

【提出先】 公立小松大学 学生課 大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

### (1) 提出期間及び審査結果通知の時期

専攻名	事項	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	提出期間	令和7(2025)年 5月30日(金)～6月6日(金)
	審査結果通知の 時期	令和7(2025)年 6月中旬
ヘルスケアシステム科学専攻	提出期間	令和7(2025)年 6月23日(月)～6月27日(金)
	審査結果通知の 時期	令和7(2025)年 7月上旬
グローバル文化学専攻	提出期間	令和7(2025)年 6月23日(月)～6月27日(金)
	審査結果通知の 時期	令和7(2025)年 7月上旬

注1 郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）とし、提出期間最終日までに必着とします。  
ただし、提出期間を過ぎて到着した提出書類でも、原則、提出期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMSは除く。）は有効とします。生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜は随時受付します。

2 審査の結果は、志願者に郵便で通知します。

### (2) 提出書類

- ア 出願資格事前審査申請書（本研究科所定用紙）
- イ 最終学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書
- ウ 最終学校の成績証明書
- エ 最終学校の教育課程表及びシラバス又はこれに相当するものの写し
- オ 研究業績調書（本研究科所定用紙）
- カ 実務経験や研究活動の内容を表す書面（様式随意、著書・論文・推薦書等）
- キ 返信用封筒（審査結果通知用）〔長3封筒に受信場所・氏名を明記し、410円分<sup>\*1</sup>（速達料金含む。）の切手を貼付してください。〕

注 外国の学校及び機関等の証明書等（上記イ、ウ、エ、カに相当）には、その和訳若しくは英訳及び説明書を添付してください。

## 5. 出願期間

専攻名	出願期間
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	令和7(2025)年 6月16日(月)～6月20日(金)
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年 7月11日(金)～7月17日(木)
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年 7月11日(金)～7月17日(木)

注 出願書類は郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）とし、出願期間最終日までに必着とします。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類でも、出願期間最終日前日までの消印のある書留速達の郵便物（EMSは除く。）は有効とします。

## 6. 出願手続

### (1) 出願方法

志願者は、出願書類を、一括して本要項に添付の入学願書提出用封筒に入れ、出願期間内に以下の提出先へ郵送（書留速達、レターパック、EMSに限る。）してください。※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

なお、出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。また、出願書類に虚偽の記載があった場合は入学許可を取り消すことがあります。

【提出先】 公立小松大学 学生課大学院担当  
〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便ウェブサイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

また、出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。出願書類等を手書きする場合は、消せないボールペンを使用してください。

## (2) 出願書類等

### ①専攻共通書類

書 類	説明事項
入学志願票	添付の本研究科所定の様式を使用し、志願者本人が記入してください。
写真票	添付の写真票の所定欄に、写真（無帽上半身正面、出願期間前3か月以内に撮影したもの、縦4cm×横3cm、カラー・白黒いずれも可、裏面に志望専攻名及び氏名を明記）を貼付してください。
受験票	添付の本学所定の様式を使用してください。
入学検定料振込金証明書	入学検定料振込後、「振込金証明書（提出用）」に取扱金融機関の領収印が押印されていることを確認し、入学志願票の所定の欄に貼付してください。 「領収書（本人控）」は大切に保管してください。 納入方法は本要項 11 ページの「(3) 入学検定料の支払い」を参照してください。
受験票送付用封筒	長3封筒に確実に届く住所を記入し、410円分（速達料金含む。）の切手を貼付してください。
卒業（見込）証明書	本研究科への出願資格を満たす大学等の卒業（見込）証明書を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による卒業（見込）証明書を提出してください。 大学改革支援・学位授与機構で出願資格を得る者は、学位授与証明書（学位授与申請受理証明書）等学位取得に係る証明書をすべて提出してください。
学業成績証明書	本研究科への出願資格を満たす大学等の学業成績証明書（評価が確定している成績のみ）を提出してください。 外国の大学の場合は、大学が発行する英語又は日本語による成績証明書を提出してください。 大学に編入学した者は、短期大学又は高等専門学校等の編入学の直前に所属していた学校の成績証明書も合わせて提出してください。

### ②専攻・選抜ごとに必要な書類

下記のア、イにおける専攻・選抜については「①専攻共通書類」に加え、表に記載の書類が必要です。

#### ア 生産システム科学専攻（一般選抜）

書 類	説明事項
英語外部試験の成績証明書（郵送されたスコア）	試験当日に提出してください。スコアについては、本要項 12 ページの「利用できる英語外部試験について」を参照してください。

#### イ 生産システム科学専攻（外国人留学生特別選抜）

ヘルスケアシステム科学専攻（一般選抜、外国人留学生特別選抜）

グローバル文化学専攻（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）

書 類	説明事項
学士論文の写し又はこれに準ずるもの	<p>学士論文の写し又はこれに準ずるものを提出してください。（※学士論文に準ずるものとは、別紙様式1「学士論文の概要」とする。）</p> <p><b>【注意事項】</b></p> <p>日本語又は英語以外の言語による論文の場合は、日本語又は英語の要約も提出してください。</p>
研究計画書	<p>本研究科所定の用紙（別紙様式2「研究計画書」）に、入学後の希望研究テーマと、今後の研究計画を記述してください。</p>

上表に記載の、様式1「学士論文の概要」、様式2「研究計画書」は、本学ホームページに掲載の様式（電子データ）で作成して、A4判の用紙に印刷の上、提出することも可能です。

③以下の書類は、該当者のみ提出してください。

書 類	説明事項
在留カードの写し パスポートの写し	<p>日本に在留している外国人は、在留カード（表・裏）の写し及びパスポート（国籍、氏名、性別、生年月日が記載されたページ）の写しを提出してください。</p> <p>日本に在留していない外国人は、パスポートの写しのみを提出してください。</p> <p>※ 出願書類には、上記の証明書等に記載された氏名を使用してください。</p>
戸籍抄本	<p>改姓等の理由で成績証明書等の記載事項が出願時と異なっている場合は、1部提出してください。</p>
大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について	<p>社会人特別選抜志願者で、大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請をする者は、添付の本研究科所定の様式を使用し、提出してください。</p>
受験許可書	<p>官公庁・企業・団体等に在職のまま入学することを希望する者は、添付の本研究科所定の様式を使用し、所属長（又は指導者）が作成した受験許可書を提出してください。</p>

注「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度について

本研究科では、在職者等必要があるものに対して、大学院での学修を容易とするための「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例」制度を設けています。

この制度を利用することで、研究科規程等に定められた教育課程に基づき、担当指導教員の許可・指導の下で弾力的に学修することができます。

制度の適用を希望する場合は、「大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例の適用申請について」を出願時に提出してください。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）[抄]

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

<提出が必要な書類一覧>

○は提出が必要な書類、◎は該当者のみ提出が必要な書類を示します。

専攻名	選抜区分	提出書類					英語外部試験の成績証明書 (郵送されたスコア)  ※選抜試験当日に持参
		・入学志願票 ・写真票 ・受験票 ・入学検定料振込金証明書 ・受験票送付用封筒 ・卒業(見込)証明書 ・学業成績証明書	学士論文の 写し又はこれに準ずる もの	研究計画書	在留カード の写し及び パスポート の写し	戸籍抄本	
生産システム科学専攻	一般選抜	○	—	—	◎外国人 の志願者	◎	○
	社会人特別選抜	○	—	—	◎外国人 の志願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—
ヘルスケアシステム 科学専攻	一般選抜	○	○	○	◎外国人 の志願者	◎	—
	社会人特別選抜	○	—	—	◎外国人 の志願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—
グローバル文化学専攻	一般選抜	○	○	○	◎外国人 の志願者	◎	—
	社会人特別選抜	○	○	○	◎外国人 の志願者	◎	—
	外国人留学生特別選抜	○	○	○	○	◎	—

専攻名	選抜区分	提出書類	
		大学院設置基準第14条に基 づく教育方法の特例の適用 申請について	受験許可書
生産システム科学専攻	一般選抜	—	—
	社会人特別選抜	◎	◎
	外国人留学生特別選抜	—	—
ヘルスケアシステム 科学専攻	一般選抜	—	—
	社会人特別選抜	◎	◎
	外国人留学生特別選抜	—	—
グローバル文化学専攻	一般選抜	—	—
	社会人特別選抜	◎	◎
	外国人留学生特別選抜	—	—

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000円

本要項に添付の振込依頼書に必要事項を記入の上、「電信扱」が利用できる金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協)の窓口からお振込みください。振込手数料は、志願者負担となります。

金融機関は土・日・祝日は休業となりますので、注意してください。また、ゆうちょ銀行・郵便局、又はATM(現金自動預払機)、携帯電話、及びパソコン等からの振込は受け付けません。

【入学検定料の返還について】

出願書類受理後は、原則として入学検定料の返還には応じません。ただし、入学検定料の振込後、

出願を取り止めた場合は返還手続きを行うことができますので、令和7年9月26日（金）までに本要項 24 ページの「18. お問い合わせ」に連絡してください。なお、返還手続きの際は「領収書（本人控）」及び「振込金証明書（提出用）」が必要になります。

## 7. 選抜方法及び試験日時等

入学者の選抜は、学力試験、筆記試験、口述試験、研究計画書及び出身大学の成績等を総合して判定します。

専攻ごとの選抜方法及び試験日時等は以下の通りです。

なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項 21 ページ参照）。

### I. 一般選抜

#### 《生産システム科学専攻》

##### 1. 出願条件

本要項 5 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。

##### 2. 選抜方法

試験科目	内 容
学力試験	専門科目の応用力を、以下の分野・科目に関する口頭試問によって評価する。 志願者は、A分野（材料力学、振動工学）、B分野（熱力学、流れ学）、C分野（アルゴリズム論、人工知能）、D分野（プログラミング、電気回路）のうち2つの分野を選択し、その2つからそれぞれ1科目を選択する。
口述試験	勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。
英語外部試験※1	TOEIC 又は TOEFL のスコアを評価する。

※1 選抜試験当日にスコアを必ず持参し提示してください。提示されたオリジナルのスコアは、確認後に返却します。なお、出願時の提出は不要です。

#### ◆利用できる英語外部試験について

英語外部試験	摘 要	説明事項
TOEIC	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC L&amp;R のみ可。（公立小松大学で実施した TOEIC-IP は可）</li> <li>TOEIC S&amp;W、TOEIC Bridge は不可。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スコアは公式の成績証明書類のオリジナル（郵送されたスコア）、又はデジタル公式認定証（QRコード付き）を印刷したもの（※TOEIC のみ）を提示してください。（コピー不可。インターネット上のスコア確認画面等を印刷したものは認めません。）</li> <li>本研究科の選抜試験日から過去2年以内に受けた試験のスコアが使用できます。</li> <li>タイプの異なる複数の試験のスコアの提示も可能です。</li> </ul>
TOEFL	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEFL-iBT（HomeEditionを含む。）</li> <li>TOEFL ITP は不可。</li> <li>TestData スコアを利用します。</li> <li>MyBest スコアは利用しません。</li> </ul>	

## 《ヘルスケアシステム科学専攻》

### 1. 出願条件

本要項 5 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。

### 2. 選抜方法

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語能力を問う。
口述試験	志願者の専門知識や健康と福祉が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

## 《グローバル文化学専攻》

### 1. 出願条件

本要項 5 ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。

### 2. 選抜方法

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語能力を問う。
口述試験	志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う勉学への意欲を評価する。

外国語の種類については、専攻長にお問い合わせください。（連絡先は本要項 21 ページ参照）

## 試験日時・試験科目・試験場（一般選抜）

専攻名	試験日及び試験時間		試験科目	試験場
生産システム科学専攻	専攻で個別に対応		学力試験 口述試験	栗津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	専攻で個別に対応		筆記試験 口述試験	末広 or 中央キャンパス
グローバル文化学専攻	令和 7 (2025) 年 8 月 2 日 (土)	10:00～11:30	筆記試験	中央キャンパス
		11:45～	口述試験	

## II. 社会人特別選抜

### 《生産システム科学専攻》

#### 1. 出願条件

入学時に教育研究機関、官公庁、企業等において、通算2年以上の専門的な実務経験を有する者で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。

なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

#### 2. 選抜方法

口述試験、学業成績証明書等に基づき、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
口述試験	社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

### 《ヘルスケアシステム科学専攻》

#### 1. 出願条件

令和7(2025)年9月30日までに通算3年以上の職歴を有する者[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

#### 2. 選抜方法

口述試験、学業成績証明書等に基づき、能力や資質を総合的に評価する。

試験科目	内 容
口述試験	社会人としての経験を基にした勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

### 《グローバル文化学専攻》

#### 1. 出願条件

令和7(2025)年9月30日までに通算3年以上の職歴を有する者[定時制、夜間、通信制の学校以外の学校（大学を含む。）の在学期間は、社会人としての経験年数に含まない。]で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者とします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

#### 2. 選抜方法

口述試験、学業成績証明書等に基づき、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
口述試験	志願者の専門知識や地域が抱える諸課題の解決に向き合う意欲と資質を総合的に評価する。

### 試験日時・試験科目・試験場（社会人特別選抜）

専攻名	試験日及び試験時間		試験科目	試験場
生産システム科学専攻	専攻で個別に対応		口述試験	粟津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	専攻で個別に対応			末広 or 中央キャンパス
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年 8月2日(土)	10:00～		中央キャンパス

## Ⅲ. 外国人留学生特別選抜

### 《生産システム科学専攻》

#### 1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。なお、本学生産システム科学科を卒業見込みの者及び卒業した者については出願できません。志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

#### 2. 選抜方法

書類審査、口述試験、及び専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
学力試験及び口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

### 《ヘルスケアシステム科学専攻》

#### 1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者としてします。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

#### 2. 選抜方法

書類審査、口述試験又は専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験又は口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な英語・日本語能力を問う。志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

## 《グローバル文化化学専攻》

### 1. 出願条件

日本の国籍を有しない者で、本要項5ページ「3. 出願資格」の各号のいずれかに該当する者として。なお、志願者は、出願期間前までに必ず専攻長に申し出てください（連絡先は本要項21ページ参照）。

### 2. 選抜方法

書類審査、口述試験又は専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う試験を課し、能力を総合的に評価する。

試験科目	内 容
書類審査	学士論文の写し又はこれに準ずるもの及び研究計画書を評価する。
筆記試験又は口述試験	専門分野についての学力と当該分野の研究に必要な外国語・日本語能力を問う。志願者の勉学意欲と研究に取り組む姿勢を問う。

外国語の種類については、専攻長にお問い合わせください。（連絡先は本要項21ページ参照）

## 試験日時・試験科目・試験場（外国人留学生特別選抜）

専攻名	試験日及び試験時間		試験科目	試験場
生産システム科学専攻	専攻で個別に対応		学力試験及び口述試験	栗津キャンパス
ヘルスケアシステム科学専攻	専攻で個別に対応		筆記試験又は口述試験	末広 or 中央キャンパス
グローバル文化化学専攻	令和7(2025)年 8月2日(土)	10:00～		中央キャンパス

## 8. 受験票の発送日等

専攻名	発送日
生産システム科学専攻	令和7(2025)年 6月27日(金)頃
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年 7月25日(金)頃
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年 7月25日(金)頃

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜の志願者には、出願（随時）からおおよそ1週間後に発送します。

- 2 試験当日は、受験票を必ず持参してください。
- 3 受験番号は、入学手続きにも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

## 9. 合格者発表

専攻名	合格発表日
	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜
生産システム科学専攻	試験日から2週間以内
ヘルスケアシステム科学専攻	試験日から2週間以内
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年8月22日(金)

合格者の受験番号を本学のホームページにおいて発表するとともに、合格者に合格通知書を送付します。なお、電話による合否の照会には応じません。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

## 10. 入学手続

入学手続期間及び方法については、令和7年9月初旬までに送付する「大学院入学手続要項」によりお知らせします。

## 11. 入学料及び授業料

### (1) 入学料

282,000 円

### (2) 授業料

585,800 円 (年額) 292,900 円 (前・後期分同額)

注1 上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2 授業料の免除及び減免の制度があります。

入学選抜区分	入学料及び授業料の免除及び減免内容
一般選抜	授業料については半額を免除する。 但し、非課税世帯については全額を免除する。
社会人特別選抜	所得金額が500万円/年以下の場合については授業料の半額を免除する。
外国人留学生特別選抜	入学料及び授業料の全額を免除する。

## 12. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

入学志願者で、心身に障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、以下の事前相談期限日までに事前相談書を、本要項 24 ページの「18. お問い合わせ」に記載された公立小松大学学生課大学院担当へ提出し、相談してください。

専攻名	事前相談期限日
生産システム科学専攻	令和7(2025)年6月9日(月)
ヘルスケアシステム科学専攻	令和7(2025)年7月4日(金)
グローバル文化学専攻	令和7(2025)年7月4日(金)

注1 生産システム科学専攻の外国人留学生特別選抜については、随時受け付けます。

2 事前相談書は次ページの様式で提出してください。参考となる書類がある場合は、それらも添付してください。

# 事前相談書

令和 年 月 日 提出

ふりがな		生年月日	性別
志願者氏名		年 月 日	男・女
現住所	〒		
電話番号	( ) -		
大学等名	(大学等名)		
	(卒業年次) 年 月 卒業見込・卒業		
志望専攻名	サステイナブルシステム科学研究科		専攻
選抜区分 ※ 該当する区分に○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般選抜</li> <li>・社会人特別選抜</li> <li>・外国人留学生特別選抜</li> </ul>		
障がいの種類、程度			
受験、修学において 配慮を希望する事項			
大学等で 配慮されていた事項			
日常生活の状況			
参考書類 ※ 添付したものに○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の診断書（提出日から3か月以内に発行のもの）</li> <li>・障害者手帳の写し</li> <li>・その他（ )</li> </ul>		

## 13. 個人情報の保護

公立小松大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出する書類に記載されているすべての個人情報は、当該研究科の学生募集要項で明示した利用目的のほか、次の業務でのみ利用します。これら以外の業務に、上記の個人情報を使用することはありません。

- (1) 入学選抜及び入学手続きに関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 修了者に対する学修成果等調査、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

## 14. 長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の延長時間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。本研究科では、最長4年までの在学期間を認めています。

入学時に許可されれば、通常修業年限（2年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に学期毎に均分して支払うことになります。

長期履修を申し出ることができる者は、次のいずれかに該当する者で、標準修業年限内での修学が困難な事情にあるものです。

- (1) 有職者
- (2) 家事、育児、介護等に従事している者
- (3) 身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む。）その他の心身の機能に障がいがある者

長期履修制度の利用を希望する場合は、出願期間内に本要項 24 ページ「18. お問い合わせ」に希望する旨を連絡してください。

## 15. 専攻長への事前連絡

志願者は、出願期間前までに、志望する専攻の専攻長に申し出る必要がありますので、注意してください。

### 連絡先

専攻名	氏名	メールアドレス
生産システム科学専攻	(専攻長) 教授 上田 芳弘	yoshihiro.ueda@komatsu-u.ac.jp
ヘルスケアシステム科学専攻	(専攻長) 教授 徳田 真由美	mayumi.tokuda@komatsu-u.ac.jp
グローバル文化学専攻	(専攻長) 教授 岡村 徹	toru.okamura@komatsu-u.ac.jp

## 16. 研究分野・担当教員名簿 [令和7(2025)年10月1日予定]

(◇) 印のついた教員は科目のみ担当。

### 生産システム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
エネルギー・安全工学分野	木村 繁男◇	教授	熱工学、流体力学、伝熱工学
	歌野原 陽一	教授	エネルギー工学
	篠原 晋	教授	応用物理学、物理学
	高山 純一	教授	土木工学(土木計画学、交通工学、都市計画)
	鈴木 章斗	教授	数理物理学
	大西 元	准教授	熱流体デバイス
材料・加工学分野	香川 博之	教授	機械工学、健康・スポーツ科学、人間医工学
	細川 晃	教授	精密加工学、生産工学、加工計測
	粕谷 素洋	教授	表面・界面科学、トライボロジー
	朴 亨原	准教授	機械・材料工学
	舟瀬 真一	准教授	生産工学、機械加工学
ダイナミクス・ロボティクス分野	酒井 忍	教授	スポーツ科学、設計工学、材料力学
	史 金星	教授	設計工学、CAE、計算力学
	廣瀬 圭	教授	機械力学・計測制御、スポーツ工学
	疋津 正利	准教授	メカトロニクス
電気電子工学分野	池田 慎治	准教授	電気電子工学、ナノ・マイクロ科学
	山下 幸三	准教授	大気電気学
情報科学分野	上田 芳弘	教授	データ科学、知識共有
	村山 立人	教授	情報学基礎、計算基盤、物理学
	梶原 祐輔	教授	人工知能、人間情報学、人間医工学

### ヘルスケアシステム科学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
ヘルスケアシステム分野	仲田 浩規	教授	基礎医学
	伊藤 道子	教授	感染看護学、基礎看護学、看護教育学
	彦 聖美	教授	看護学
高齢者包括ケアシステム分野	徳田 真由美	教授	看護学、保健学
	橋本 泰成	教授	人間医工学、人間情報学、脳科学
	中田 明恵	教授	公衆衛生看護学
	青木 頼子	准教授	看護学、高齢者看護学
ヘルスパイオエンジニアリング分野	山岡 禎久	教授	人間医工学
	藤田 一寿	准教授	神経科学、人間情報学、情報科学
	上田 映美	准教授	看護学、保健学、看護理工学
	今方 裕子◇	准教授	看護学、臨床看護学
生体代行システム分野	山岡 哲二	教授	医用生体工学、生体材料学
	北浦 弘樹	教授	神経科学、基礎医学、外科系臨床医学
	山田 昭博	准教授	人間医工学、電気電子工学、臨床外科学
サステイナブルコミュニティ分野	高木 祐介	教授	公衆衛生学、生理学、栄養学
	木森 佳子	教授	看護学、看護理工学
	片山 美穂	教授	看護学、保健学、精神保健看護学
その他関連分野	山本 博◇	教授	基礎医学、糖尿病学、生物科学
	盛永 審一郎◇	客員教授	実存倫理学、応用倫理学

### グローバル文化学専攻

研究分野	担当教員	職名	専門分野
国際観光・地域創生分野	杓谷 茂樹	教授	観光人類学、文化人類学
	中村 誠一	教授	考古学、文化資源学、地域研究
	中子 富貴子	教授	観光学、観光社会学、地域観光
	朝倉 由希	准教授	芸術学、地域研究
	木村 誠	准教授	心理学
	陳 慶光	准教授	観光学、スポーツツーリズム
	清 剛治	教授	経済学、経営学、地域研究関連
政治経済分野	黄 霄龍	准教授	日本中世史、東アジア史
	望月 葵	講師	中東イスラーム地域研究、政治学、難民研究
	西島 薫	講師	地域研究、政治人類学、インドネシア研究
言語文化分野	岡村 徹	教授	英語学、言語学、社会言語学
	小原 文衛	教授	アメリカ文学、映画研究
	西村 聡	教授	文学、史学、芸術学
	島内 俊彦	教授	人間情報学、科学教育・教育工学、言語学、地域研究
	長辻 幸	准教授	英語学、言語学、語用論
	橋本 貴子	准教授	中国語学、中国語音韻史
	デニス・ハーモン	准教授	教育哲学、異文化接触
	単 艾婷	講師	テキスト言語学、日中対照言語学、中国語教育



## 18. お問い合わせ

月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前9時から午後5時の間に下記までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課 大学院担当

〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ1番地3（栗津キャンパス）

電話：0761-41-6700 E-mail：daigakuin@komatsu-u.ac.jp

### 【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページに随時情報を掲載しますので、受験直前は特に注意して確認してください。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>